



編集・発行： 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内

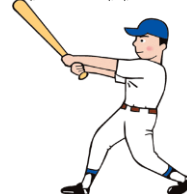
TEL 273-1111
内線 4114

多様な学びの場を紹介します

少年補導委員は、青少年の健全育成を目的に活動しており、青少年の理解を進めるために、学校を訪問したり、視察したりしています。千曲市の小中学校の他、昨年度と今年、次の 3 つの学校を視察しました。

稲荷山養護学校・・障がいのある子どもたちが通ってくる県立の特別支援学校
屋代高等学校附属屋代中学校・・開校 13 年目を迎えた県立の中高一貫校
長野俊英高等学校・・最近、部活動などの活躍が目覚ましい私立の高等学校

いずれの学校も、子どもたちの多様性を活かして伸ばしていく教育が行われていました。この 3 校は千曲市やその近くにありながら、どんな学校なのか、案外知られていません。今回は 3 つの学校の様子を紹介します。



それぞれの学校の様子は、2・3 ページへ



子どもの自主性を親子で育てよう

社会教育委員 児玉みどり

私は菅平にある自然学校で、小学生対象のキャンプや森あそび等の自然体験活動のインタープリター（自然と人との仲介し、自然解説をする）をしています。長野県や関東地方から多くの参加者が菅平にやってきます。

今年のサマーキャンプでの出来事です。

「これからハイキングに行くから、長袖長ズボンに着替えて集まってください。」と、リーダーからの指示がありました。すると、四年生の男の子が、ピチピチのきついズボンとピチピチのピンクのシャツで現れました。一方、一年生の女の子が「私の着替えがない。」と、しくしく泣いていました。どうして・・・？実は二人のリュックが全く同じものだったのです。男の子は、間違えたと思っておらず、「自分のリュックに入っていたから着たんだ。」と答えました。

川遊びの後で入るドラム缶風呂でも同じようなことがありました。子どもたちは水着に着替えて、ドラム缶の下に火をつけた風呂に入ります。テントの中で着替えをするのですが、これがまた、大変なのです。「このパンツは誰のかな？名前がないよ。」「このズボン、〇〇君って書いてあるよ。取りに来て。」

どうして、こういうことが起こるのでしょうか。キャンプの準備をするときに、親がみんなやってしまい、子どもが知らないまま、キャンプに来てしまうのではないかと思うのです。

親は、子どもが、自分のことは自分でできるように自主性を、一緒に育てるサポート役でよいのだと思います。

第 3 日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— おさな子が 親から受け継ぐ よいマナー —

稲荷山養護学校 ～個々のニーズから始まる教育を～

稲荷山養護学校は、障がいのある子どもたちが学ぶ県立の特別支援学校です。小学部、中学部、高等部があり、東北信の **337 名が在籍**しています。そのうち、**千曲市の児童生徒は、118 名**です。先生方の数も多く、224 名の職員が教育にあたっています。

広い範囲から通学しているため、子どもたちは保護者の送迎の他、スクールバスでも通っています。また、寄宿舎に入っている生徒、稲荷山医療福祉センターに入所して学んでいる子もいます。肢体不自由のため、車いすに乗って生活している子もたくさんいます。

子どもたちが、障がいによる学習や生活上の困難を改善・克服し、地域で豊かな社会生活を送ることができるよう、一人一人の教育的ニーズをもとに、学校目標である「**明るく たくましく より豊かに**」生きる子どもたちを育てています。高等部には、仕事を学ぶ場として、本格的なクリーニングの設備もありました。



長野県の肢体不自由・知的障がい教育を牽引する役割も担っている稲荷山養護学校です。

<補導委員の感想>

- ・県の木材を使った広々とした教室や施設に驚きました。一人一人の子どもに合った学びに力を入れてくださっていることがわかりました。
- ・高等部では、いろいろな作業をしたり学習をしたりすることを知りました。社会に出ていく子どもたちをしっかりと支えてくれていると感じました。



屋代高等学校附属中学校 ～質実剛健 文武両道～

屋代高等学校附属中学校は、長野県初の県立中高一貫校として、平成 24 年度に開校しました。校舎は、屋代高校と同じ敷地にあり、高校とつながっています。

附属中学校に入学するには、入学者選抜があり、中学校を終えると、選抜なしで屋代高校に進学します。各学年 80 名ずつ、**計 240 名**が学んでいます。

生徒は、遠くは佐久市や中野市から通ってきています。**千曲市の生徒は 20 名**、一番多いのが長野市で 120 名、生徒の 9 割がバスや電車で通っているそうです。給食は、牛乳のみの提供で、基本お弁当です。



附属中学校は、「**高い知性と創造性**」「**豊かな人間性**」「**健やかな心と体**」を育て、さまざまな分野でリーダーシップを発揮し、**社会のために貢献できる人材の育成**を目指しています。

附属中学というと、勉強・・・というイメージもありますが、クラブ活動も盛んです。運動部が 8、文化部が 9 あって、大会やコンクールに参加もしています。

授業ではともに学ぶことを大切にしており、友達と関わって学ぶ場面が多くあります。視察でも、机を合わせて、意見を交換しながら学ぶ様子を見ることができました。

大切な青年期を中高一貫の学校で学び、心身共に成長している生徒たちを見て、将来を担う人材が育っていると感じた屋代高等学校附属中学校です。

<補導委員の感想>

- ・タブレット片手に生徒同士で会話しながら学習している様子を見て、時代の変化を感じるとともに、学習を通じてのコミュニケーションと高い学習能力に驚きました。
- ・生徒のみなさんが生き生きとし、あいさつもきちっとしていました。
- ・知識だけでなく、自ら考えることに重きをおいていることを感じました。



長野俊英高等学校 ～君の中の光を見つけよう～

『俊英』とは、「すぐれたる者」という意味で、心身共に健康で、自ら律し、自ら立つことができ、世のため人のため、地域のために役立つような人材の育成を目指している学校です。

今年度は **497 名が在籍**、そのうち **65 名が千曲市の生徒** です。普通教育の他、体育・英語・家庭・福祉・商業といった専門教育も行っています。進路指導にも力を入れていて、昨年度の卒業生の進路は、大学進学が 53 名、短大が 11 名、専門学校が 58 名、就職が 27 名でした。

2022 年には、通信制も開校し、毎日の登校が難しい生徒にも対応しています。

部活動も盛んです。特に、昨年夏の高校野球選手権長野大会における野球部の準優勝は、創部初の快挙でした。

練習場に響く大きな掛け声、移動も全力疾走、てきぱきとした動きなど、見学していた委員の目が釘付けとなりました。監督のお話も伺うことができました。

あいさつ、礼儀、相手をリスペクトする気持ち、日常生活の考え方、行動が野球の結果になります。生徒には、やりたいことより、やるべきことを優先することを説いてきました。我慢ができる子は、強いです。我慢できる選手たちの姿勢が出た夏の大会でした。監督は「感徳」。主役である選手の成長・変化に気づき、一緒に修練する者です。



地域に開かれた学校づくりに取り組む長野俊英高等学校は、自分がやりたいことに打ち込むことのできる学校です。

<補導委員の感想>

- ・見学中、どの生徒も「こんにちは。」と、気持ちよくあいさつをしてくれました。自由で伸び伸びとした校風を感じます。
- ・グラウンドで大声を出しても一度も苦情がないとのこと。地域の方向けの市民講座を実施するなど、地域との密着を感じさせられる高校でした。



※ 文中の生徒数などは、令和 6 年 4 月のものです



～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「わたしの夢」

東小学校

4年 久保 梨美

私の夢は、保護ねこ活動をすることです。理由は2つあります。1つ目は、のらねこがたくさんいるので、救いたいということです。最近、ねこを飼ってくれる人がいなくて、たくさんのねこが1人で生きています。悲しいねこを1匹でも多く救いたいのので、この夢を選びました。2つ目は、ねこが大好きだからです。私は今、4匹のねこを飼っています。全員保護ねこで、保護する大変さを知っているからこそ、幸せではないねこが少しでも減るように、保護ねこの活動がんばりたいです。この夢をかなえるためには、今飼っているねこで、どうしたらねこが気持ちいいかなど、研究もしていきたいです。そして、ねこの命を大切にしていきたいと思っています。

「ドッジボール全国大会出場」

八幡小学校

6年 南澤 晴希

僕の夢はドッジボールで全国大会に出ることです。この長野県には、強いチームがいっぱいあります。長野で一番強いチームはブレイブキッズというチームです。そのチームは、背の高い人が4人います。その4人は投げる球がすごく速く、背も高いから相手をねらう所が、ひざにくるのですごく取りづらいのです。

ブレイブキッズに2人友達がいるのですが、その友達がすごく優しくてよく一緒にゲームをしています。でも、そこのチームをたおさなければ全国大会にはいけません。ブレイブキッズたおすためには、ディフェンスをもっと強くしないといけません。ぼくは、アタッカーなのでたくさん相手を当てたいです。



「将来の夢」

五加小学校

6年 中田 莉鈴

私が、将来の夢として決めたのは、「トリマー」です。

決めた理由の1つ目は、猫や犬の飼い主に喜んでほしいからです。猫や犬が可愛くなって戻ってきたら嬉しいと、飼い主は思うと思います。可愛いと思ってくれたら、私も嬉しいからです。2つ目は、長毛種の猫は、毛を短くしてあげないといけません。夏をそれほど暑くなく過ごすことができます。犬も毛を切ってあげることによって、毛が絡むのを少しでも防ぐことができます。このようなことから、猫や犬が快適に過ごすことができます。3つ目は、私は動物が好きで猫を飼っていて動物に慣れているので優しく接することができるかなと思ったからです。



「私の夢について」

戸倉上山田中学校 1年 原山 結羽

私の夢は「聞く人の心に残るような和太鼓の演奏をすること」です。私は今、和太鼓のグループの一員として練習に励んでいます。練習は大変で、疲れるけど、私は和太鼓が大好きです。そんな私ですが、様々なイベントで演奏するときには毎回とても緊張してしまいます。でも、演奏の終わりにお客さんからもらう拍手で達成感をすごく感じ、和太鼓をやっていてよかったと心から思います。聴いてくれたお客さんに心のこもった拍手をしてもらうには、よりよい演奏が必要だと感じています。

今年の夏、私たちは大阪万博の千人太鼓に参加する予定です。外国人など様々なお客さんが来ると思うので、心のこもった拍手をしてもらえるような演奏をしたいです。